



中尾 正男 議員

新庁舎と機構について

町長/建設委員会を設置

中尾 庁舎候補地選定の取り組みと効率的な行政運営の観点から総合支所方式から本庁方式に移行すべきと思うが、考えを問う。

町長 庁舎候補地選定については、宮之城高校廃止後の活用問題や総合振興計画、財政計画等と整合を取りながら、機構については、財政的に本庁方式が良いが、地域活性化のこともあります。総合的判断が求められるので、建設委員会を設置して取り組みます。



さつま町役場（本庁舎）

職員定数の適正化策は

町長/組合の制度で対応

中尾 職員の現員数は422名である。人口割合から見ると適正数を110名ほど超過している。退職勧奨制度創設の考えはないか。

町長 効率的な行政運営を進めるなかで、職員数の削減は大きな課題です。町単独での新たな勤奨制度は、財源確保と制度上も問題があり、県町村職員退職手当組合の早期退職者優遇措置等の制度改正と併せて取り組みを進めます。

★他の質問

○ホテル舟
くホテル生息環境の調査と保全について

どうする地域活性化

町長/専属の係設置を検討



柳田 隆男 議員



▲田植え体験（久富木区公民館）

柳田 グリーン・ツーリズムは、地域活性化の優れた地域おこしである。具体的推進策を示せ。

町長 都市側への情報発信やイベント等のネットワーク化、特産品開発、関係者の研修等を行うには、広域的な推進体制が必要であり、それを推進する部署を明確にするため、専属の係の設置を検討します。

絶やさない 青年団のともじび

教育長/魅力ある
活動を支援

柳田 町に青年団組織がなくなりつつある。こんな町に将来はない。地元で頑張っている青年団の育成、青年教育に力を入れよう。

教育長 現在の青年団は、旧宮之城町20名、旧鶴田町15名のみであります。青年団活動の重要性を大きく受け止め、組織の育成、活動への助成、助言等、魅力ある活動が展開されるよう支援します。

★他の質問

○地場産業の後継者対策
○新設高校の支援策
○民間活力の活用策